



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月30日

上場会社名 サンワテクノ株式会社
コード番号 8137 URL <https://www.sunwa.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 玉木 克也

TEL 03-5202-4011

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	131,130	20.1	5,421	63.9	5,468	56.0	3,854	54.0
2022年3月期第3四半期	109,192	15.9	3,307	191.2	3,504	161.7	2,502	167.8

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 5,300百万円 (58.5%) 2022年3月期第3四半期 3,344百万円 (27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	249.16	
2022年3月期第3四半期	158.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	102,206	42,754	41.8
2022年3月期	93,078	38,023	40.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 42,754百万円 2022年3月期 38,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		17.00		20.00	37.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				70.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	174,000	12.7	6,500	35.3	6,650	28.0	4,650	30.0	300.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 有 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	16,044,000 株	2022年3月期	16,044,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	562,307 株	2022年3月期	600,439 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	15,469,013 株	2022年3月期3Q	15,741,795 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
仕入、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、個人消費や企業の設備投資に堅調な伸びがあり、景気の拡大が継続していましたが、各国の景気減速や為替・金利の変動、物価高の影響等による景気下押しの懸念があり、経済活動は先行きが不透明な状況が続いております。世界経済については、コロナ禍からの正常化が進んでおりましたが、コロナ禍でのデジタル関連特需が一服したことや各国の金融引き締めにより、経済成長が減速しております。中国では上海ロックダウンから景気の回復以降、個人消費の低下や欧米地域への輸出の減少が見られた一方で、新エネルギーに関する設備投資が増加しております。アメリカでは、金融引き締めの影響で景気が減速していましたが、需給ひっ迫の緩和による企業活動の押し上げを受け、設備投資の増加が見られます。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、5Gの普及・電気自動車（EV）化の推進、また製造業の生産拠点見直し、人手不足対策として自動化や省人化を目的とした設備導入が行われたことで、半導体関連・自動車関連・太陽光関連などの市場で積極的に設備投資が行われました。一部の業界では在庫過多による手配調整の動きが見られますが、需要は高い水準で推移いたしました。

このような環境の中で当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,311億30百万円（前年同期比20.1%増）、営業利益54億21百万円（前年同期比63.9%増）、経常利益54億68百万円（前年同期比56.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益38億54百万円（前年同期比54.0%増）となり、それぞれ過去最高を更新する結果となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[電機部門]

電機部門では、半導体関連業界（欧米）向けの電機品、太陽光関連業界向けの制御機器及び電機品、産業機械業界向けの制御機器の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は259億16百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

[電子部門]

電子部門では、産業機械業界向けの電子部品及び電子機器、輸送用機械業界向けの半導体素子、自動車関連搭載向けの電子部品、精密機器業界向けの電子機器、OA機器関連業界向けの電子部品及びコネクタ、半導体関連業界（欧米）向けの電子機器、アミューズメント業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。半導体関連業界（中国）向けの電子部品の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は975億85百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

[機械部門]

機械部門では、食品関連業界向け及び自動車関連業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。生活用品業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は76億28百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

半導体関連業界向けの電機品、太陽光関連業界向けの制御機器、産業機械業界向けの制御機器、電子部品及び電子機器、輸送用機械業界向けの半導体素子、自動車関連搭載向けの電子部品、精密機器業界向けの電子機器、OA機器関連業界向けのコネクタ、食品関連業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。この結果、売上高978億84百万円（前年同期比17.7%増）、営業利益36億65百万円（前年同期比90.7%増）となりました。

② アジア

アジア地域では、太陽光関連業界向けの電機品、産業機械業界向け及び自動車関連搭載向けの電子部品、半導体関連業界向けの電子機器、OA機器関連業界向けの電子部品及びコネクタの販売が増加いたしました。半導体関連業界向けの電機品及び電子部品の販売が減少いたしました。この結果、売上高470億36百万円（前年同期比30.3%増）、営業利益19億42百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

③ 欧米

欧米では、アミューズメント業界向けの電子部品、産業機械業界向け及び半導体関連業界向けの電子部品、自動車関連業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。生活用品業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。また、輸送費高騰の影響を受け、営業損失となりました。この結果、売上高51億79百万円（前年同期比17.1%増）、営業損失53百万円（前年同期は営業損失36百万円）となりました。

④ その他

売上高は5億12百万円（前年同期比9.5%減）、営業損失24百万円（前年同期は営業利益3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,022億6百万円となり前連結会計年度末に比べ91億28百万円増加しました。受取手形、売掛金及び契約資産、商品の増加が主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、594億51百万円となり前連結会計年度末に比べ43億96百万円増加しました。電子記録債務及び短期借入金の増加が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、427億54百万円となり前連結会計年度末に比べ47億31百万円増加しました。利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月28日発表の連結の業績予想から修正を行っておりません。2023年3月期の配当予想につきましては、株主還元方針の変更を踏まえ、本日付で修正を行っております。詳細につきましては、本日(2023年1月30日)公表いたしました「株主還元方針の変更および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,049	12,047
受取手形、売掛金及び契約資産	43,146	45,513
電子記録債権	8,851	11,307
商品	12,006	19,922
仕掛品	0	22
その他	4,310	3,146
貸倒引当金	△155	△168
流動資産合計	82,209	91,791
固定資産		
有形固定資産	2,230	2,183
無形固定資産	226	234
投資その他の資産	8,411	7,996
固定資産合計	10,868	10,414
資産合計	93,078	102,206
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,472	23,160
電子記録債務	17,204	21,064
短期借入金	5,405	9,325
1年内返済予定の長期借入金	2,400	—
未払法人税等	1,244	814
引当金	—	59
その他	3,070	3,067
流動負債合計	52,797	57,492
固定負債		
長期未払金	177	52
役員退職慰労引当金	114	121
退職給付に係る負債	955	982
その他	1,010	802
固定負債合計	2,257	1,958
負債合計	55,054	59,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,727	3,727
資本剰余金	3,549	3,544
利益剰余金	26,867	30,103
自己株式	△867	△812
株主資本合計	33,277	36,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,721	3,294
為替換算調整勘定	1,024	2,897
その他の包括利益累計額合計	4,746	6,192
純資産合計	38,023	42,754
負債純資産合計	93,078	102,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	109,192	131,130
売上原価	95,816	114,370
売上総利益	13,376	16,759
販売費及び一般管理費	10,068	11,338
営業利益	3,307	5,421
営業外収益		
受取利息	14	17
受取配当金	104	141
仕入割引	30	30
受取家賃	100	104
その他	79	119
営業外収益合計	330	413
営業外費用		
支払利息	34	94
売上債権売却損	29	33
為替差損	57	220
その他	12	17
営業外費用合計	134	366
経常利益	3,504	5,468
特別利益		
固定資産売却益	21	—
投資有価証券売却益	61	12
関係会社株式売却益	—	21
特別利益合計	82	34
税金等調整前四半期純利益	3,586	5,502
法人税等	1,084	1,647
四半期純利益	2,502	3,854
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,502	3,854

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,502	3,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183	△426
為替換算調整勘定	658	1,872
その他の包括利益合計	842	1,445
四半期包括利益	3,344	5,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,344	5,300
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(在外子会社の収益および費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益および費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場為替による方法に変更しております。この変更は、在外子会社の重要性が増してきたため、一時的な為替相場の変動による損益等への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させることを目的とするものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	72,256	32,547	3,838	108,643	549	109,192	—	109,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,896	3,539	585	15,021	17	15,038	△15,038	—
計	83,153	36,087	4,424	123,664	566	124,231	△15,038	109,192
セグメント利益又は損 失(△)	1,922	1,425	△36	3,312	3	3,315	△7	3,307

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△7百万円には、セグメント間取引消去11百万円及び棚卸資産の調整額△18百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	84,180	42,328	4,121	130,629	500	131,130	—	131,130
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,704	4,708	1,058	19,471	12	19,484	△19,484	—
計	97,884	47,036	5,179	150,101	512	150,614	△19,484	131,130
セグメント利益又は損 失(△)	3,665	1,942	△53	5,555	△24	5,530	△109	5,421

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△109百万円には、セグメント間取引消去9百万円及び棚卸資産の調整額△118百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	85,150	116.9
アジア (百万円)	33,447	136.0
欧米 (百万円)	3,332	137.5
報告セグメント計 (百万円)	121,930	122.1
その他 (百万円)	379	93.9
合計 (百万円)	122,309	122.0

②受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	98,769	97.6	64,833	135.4
アジア	46,509	106.0	25,279	131.0
欧米	4,566	94.3	2,024	130.0
報告セグメント計	149,845	100.0	92,137	134.1
その他	643	100.8	302	162.9
合計	150,488	100.0	92,440	134.1

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	84,180	116.5
アジア (百万円)	42,328	130.1
欧米 (百万円)	4,121	107.4
報告セグメント計 (百万円)	130,629	120.2
その他 (百万円)	500	91.0
合計 (百万円)	131,130	120.1

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。